



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2019年(令和元年)12月15日号 No.1812

目次

■ 2019年に出版されたロシア・NIS関連書籍	1
■ 統計速報	13
2019年1～11月のロシアのブランド別乗用車販売台数／13	
■ エトセトラ	14
月例報告会「ロシア経済はどこに向かうのか—産業・市場の実態面からの考察—」／14	
■ トピックス	14
中口初のガスパイプラインが開通／14	
ロシア政府が政権批判規制を強化か／14	
OPECプラス、減産拡大で最終合意／14	
ロシアへの漁業協力費が初めてゼロに／14	
ロスネフチが北極圏の油田開発で出資打診／15	
ウズベキスタン最大の国有銀行が株式会社化／15	
朝日インテックがロシアに営業子会社設立／15	

2019年に出版されたロシア・NIS関連書籍

はじめに

2019年も暮れようとしている。本年を振り返る作業の一環として、今回は、2019年に日本で出版されたロシア・NIS諸国関連の書籍をまとめて紹介することにする。編集部で把握できた書籍はすべて掲載することとする(見落としなどがあった場合にはご容赦いただきたい)。現代の経済・政治・国際関係はもちろんのこと、文化・歴史などをテーマとした書籍も取り上げておく。ただし、雑誌は省略して単行本のみとし、文学作品や語学本も基本的に割愛させていただく。

なお、今号の趣旨は、あくまでもロシア・NIS関連書籍をなるべく網羅的に整理しておく点にある。言うまでもなく、以下で取り上げているからといって、当会としてそれらの書籍の分析や主張に必ずしも賛同しているわけではないので、その点ご理解いただきたい。

2019年の話題作としては、小泉『「帝国」ロシアの地政学 —「勢力圏」で読むユーラシア戦略』、岡『〈賄賂〉のある暮らし —市場経済化後のカザフスタン』、そして沼野ほか(編)『ロシア文化事典』などが挙げられようか。2019年には日口間の領土問題解決および平和条約締結に向けた交渉が正念場を迎えたので、その関連の書籍も何点か出た。ウラジオストクや中央アジアの観光本が出たのも最近のトレンドを反映していよう。

下表では、基本的に出版時期の順に書籍を並べている。掲載されている価格はすべて税込みである(電子書籍が出ている場合には、若干割安な場合もある)。